チェンジ東京！小金井の会ニュース　第 12 号　2020.1.10 発行

気候は非常事態です！

激化する気候災害　～台風対策補正予算 144 億円

12 月都議会では、都独自の住宅補修事業など台風被害の復旧・復興予算約 144 億円を可決しました。一昨年の日本における気候災害による保険金支払額は 1.5 兆円、昨年も 1 兆円と推定されています。

気候災害は世界規模で増加。被害抑制のため「産業革命前からの地球の気温上昇を 1.5℃未満に」抑えなければなりません。

COP25 は合意先送り、今年の交渉に注目！

ところが 12 月の COP25*では、CO2 削減目標引き上げなどの合意に至らず、今年末の COP26 に持ち越されました。日本政府は世界に逆行する石炭火力発電の継続方針で、NGO が気候対策に消極的な国に送る化石賞を 2 回も受賞。小泉環境大臣＝安倍政権に削減目標引き上げと脱石炭は期待できそうもありません・・・

＊気候変動枠組条約第 25 回締約国会議、スペイン・マドリードで開催

小池知事は気候非常事態宣言に消極的・・・

COP 会場には「気候非常事態」との言葉が溢れていたそうです。すでに、ニューヨーク、ロンドン、パリはじめ 1254 自治体が、日本では壱岐市、長野県などが「気候非常事態」を宣言しています。

都議会は 11/29 の環境・建設委員会で、「気候変動に対する非常事態宣言を求める請願」を継続審査＝棚上げとしました。都民ファーストと公明党、小池知事も 12 月発表の「ゼロエミッション東京戦略」で十分とのこと。本当でしょうか？要チェックです。

かんど
漢人あきこ

1960 静岡県生まれ／1980 東京学芸大学入学／1983-95 本町「どろんこ保育所」で働く／1990 チェルノブイリ原発事故を受けて放射能測定室を実現し現在も継続／1997-2013 小金井市議 4 期／2017 都議選立候補（無所属、次点）

グローバル気候マーチに 760 万人！

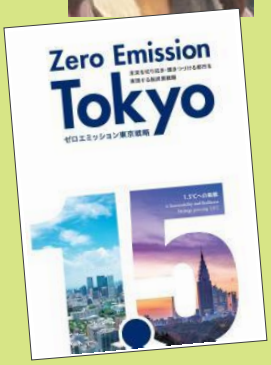
一方で、私たちの未来を奪わないで！と若い世代のアクションが世界に広がり、国内でも 25 都府県で企画されました。この声に応える大人の責任が問われています。

「ストップ気候危機！自治体議員による気候非常事態・共同宣言」が呼びかけられ、賛同議員は 350 人を超えて広がっています。地域からの取り組みと連携も重要です。

第 12 回 都政カフェ

どなたでも、お気軽にご参加ください

東京の CO_2 をあと30年でゼロに！！？



東京都は 12 月に 2050 年までの CO2 排出ゼロに貢献するための「ゼロエミッション東京戦略」を発表しました。具体的な取組・ロードマップとのことですが、大都市東京の責任を果たせるような内容になっているのでしょうか。各自治体との関係は？さっそくチェック！

ゲスト **桃井貴子**さん
気候ネットワーク東京事務所長

1/25（土）17:00～18:30

@萌え木ホール A 室(商工会館 3F)
TEL:042-385-5116　武蔵小金井駅南口 7 分
参加費 500 円

男女平等ランキング
日本は 153 カ国中 121 位！

世界経済フォーラムが 2019 年版ジェンダー・ギャップ指数を発表しました。日本は昨年より 11 位ダウンの過去最低。特に女性議員比率の少なさは決定的です。昨年、「候補者男女均等法」ができたのに、自民党と公明党は参院選女性候補比率を前回より下げているのです！

34 歳の女性首相が誕生したフィンランドでは、連立政権 5 党の党首が全員女性で大臣 19 人中 12 人が女性！日本は世界の動きに取り残されつつあります。政治の魅力や可能性を取り戻すためにも、パリテ法やクオータ制など拘束力のある法整備によって、女性議員比率を確実にアップすることが必須です。

#Me Too
伊藤詩織さんの「性暴力被害」裁判の勝訴は変化の兆し？ありがとう！！

漢人あきこの都政ウオッチ！

1 「『未来の東京』戦略ビジョン」
長期計画にむけた政策目標と具体的な政策

長期計画は７月知事選後。「2040 年代の東京ビジョン」と「2030 年に向けた戦略」がそれぞれ 20 掲げられていますが、同時に発表された「ゼロエミッション東京戦略」の優先度が高いようには見えません。表紙が、車や電車が空を飛び、学校も空の上という夢を描いた小学生の絵（題名は「ちじょうがぜんぶこうえんになったまち」）なのも気になります。この夢を掲げるビジョンでよいのでしょうか。

2 全国初！LGBT 基本計画

12 月末、**東京都性自認及び性的指向に関する基本計画**が発表されました。パブコメ意見の多かった「パートナーシップ制度の導入」「苦情処理機関の設置」「当事者を含む全体会議の設置」は残念ながら反映されませんでしたが、全国初の単独計画ですから大きな前進です。

小金井では陳情が採択され、今年秋には同性パートナーシップ制度導入の予定です。ここは都より進んでます。

3 都知事選挙の日程が決まりました
6/18（木）告示～7/5（日）投開票

知事選関連の報道が増えてきました。議会答弁の直前変更など知事の都民ファースト厚遇、公明党への配慮と野党への塩対応が目に付くと、強権的な政治体制に都政の劣化を憂う記事もありました。対立候補の模索にも注目です。

4 オリンピック・パラリンピック
7/24～8/9　　8/25～9/6

①「復興五輪」の名の元での被災者切り捨て

安倍首相が「福島事故の放射能はアンダーコントロールされている」とアピールして「復興五輪」と位置づけ、東電福島原発事故の収束を演出しながら、被災者や避難者の人権を侵害する中で準備が進められてきました。

②オリンピックが難民排斥の口実に

“政府は、2020 年東京オリ・パラ大会に向けて「世界一安全な国 日本」を作り上げることを目指す” との方針の下で、入国管理センター収容施設で過去最悪の長期拘束などの人権侵害が深刻化しています。

③建設現場で作業員が４人死亡！

関連施設の建設現場の労働環境について、国際 NGO が昨年２回にわたって改善要求を出しましたが、大会組織委員会からは前向きな対応がないとのこと。すでに４人死亡なんて異常です。大会が近づき現場はますます忙しくなります。真摯に対応するべきです。

大会経費の膨張や関連施設の問題、暑さ対策、そして人権問題。お祭り騒ぎで終わるわけにはいきません。

小金井市長選
はけと野川をこわす
都市計画道路をつくらせないために
閉塞した市政に逆戻りさせないために

今回の市長選は、漢人は現職の西岡真一郎さんを応援する立場を表明して臨みました。

野党共闘の基本は政策調整です。西岡市長は「９条改悪」「安保法制」「原発再稼働」への反対などの政治姿勢は評価できました。不安要素のあった道路問題についても「反対」の姿勢を明確にして、選挙直前には東京都への公式申し入れも行うに至りました。市民や議会の粘り強い働きかけの成果です。

市政の課題は盛りだくさんで、市長選は大きいけど通過点です。前向きな議論と解決を期待します。

▶結果 ----------2019.12/1 告示、8 投開票---

西岡真一郎	（無所属／元民主都議・現職）	18,579（票）
河野律子	（無所属／前自民市議・新人）	10,759
森戸洋子	（無所属／前共産市議・新人）	10,399
立花孝志	（N 国・新人）	678

自然を壊して、生物多様性を脅かして
新しい道路を作るべきではありません

東京都は小金井の大切な自然環境「はけと野川」を壊してしまう 2 本の都市計画道路をつくろうとしています。CO2 ゼロに逆行する計画は速やかに見直すべきです。多くの市民が反対し、市議会は何度も見直しを求める意見書を出し、12 月の市長選では７割超の反対の民意が示されました。

選挙後、西岡市長は改めて「市長の私が了承できない状況で事業化することはあってはならない。都は重く受け止めてほしい」と表明。東京都の強行は許されません！

チェンジ東京！漢人（かんど）あきこ

チェンジ東京！小金井の会

代表：漢人あきこ

http://kandoakiko.com/

TEL:042-386-1503　ご意見ご感想をお寄せください。

会員募集。カンパ歓迎。詳しくは HP をご覧ください